

# 気まぐれ通信 2021-5-12

こんにちは！気まぐれ通信のページをご覧ください、ありがとうございます。  
前号からかなりの時間が経ってしまいましたが、久々の登場にお付き合い下さい。

TOKYO2020オリンピック・パラリンピック開幕まで100日を切り、先ごろ  
東京都庁と高尾山山頂にマスコット像や五輪シンボルが設置されました。

<https://tokyo2020.org/ja/news/news-20210414-01-ja>



高尾山山頂の五輪シンボルは、台座と輪の側面に多摩産の杉が使われているんですよ。



今回はオリンピックにちなみ、「木とスポーツ」というテーマでお送りします。

さて、今でこそ木製のスポーツ道具を使っているのは野球(バット)や卓球(ラケット)くらいですが、スポーツ黎明期は多くの道具が木製でした。

技術革新によって、木からさまざまな素材のものへ変わっていく中でその名残が残っている道具もあります。

例えば、ゴルフのクラブ。

パーシモン(柿の木)からステンレスやチタンと言った金属素材に変わってもドライバーは1番ウッド、スプーンは3番ウッドと呼ばれているのは皆さんもご存じだと思います。



先日、ゴルフのメジャー大会であるマスターズに出場した松山英樹選手。世界屈指の難コースで並みいる名選手たちを制して、見事優勝しました。TOKYO2020オリンピックでの金メダルも期待しましょう！

今でも木製の道具を使用している野球と卓球について、もう少し深掘りしてみましょう。現在、野球のバットに使われる木は、大きく分けて以下の4つとされています。

①アオダモ(トネリコ)、②ホワイトアッシュ、③カエデ、④孟宗竹(もうそうちく)



①アオダモ



②ホワイトアッシュ



③カエデ



④孟宗竹

孟宗竹、と聞いて「バットに使えるの？」と思うかも知れませんがそのまま使うのではなく薄く切り出した竹板を接着し、圧力を掛けて角材にした後でバットの形に削って作成します。

最近、木質系建築材料として話題のCLT(注)にちょっと似ていませんか？

注:CLT=Cross Laminated Timberの略で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。

野球規則にはバットのサイズに関するルールがあります。

例えば、プロが使うバットは野球規則3.02の(a)に

バットはなめらかな円い棒であり、太さはその最も太い部分の直径が

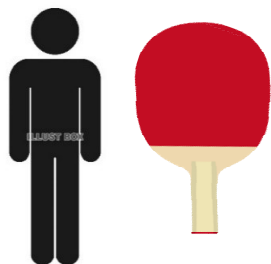
**2.61インチ(6.6cm)以下**

**長さは42インチ(106.7cm)以下であることが必要である。**

**と記載があるので、丸太のような太いものや、物干し竿のような長いもの、羽子板のような角があるものは使えませんが、重さの規定はありません。**

**一方、卓球のラケットは、「グリップを除いたラケット面の85%以上が天然の木であること」という規定がありますが、サイズに関する規定はありません。**

**なので、ルール上は人間の体と同じくらいの大きさのラケットもOKです(笑)**



**< =こんな大きさでもOK。でも持てない! ?**

**卓球ネタをもう一つ。**

**TOKYO2020オリンピック・パラリンピックで使用される予定の卓球台が公開されました。**



**この卓球台の名称は「MOTIF」。**

**2016年のリオデジャネイロ大会で採用された卓球台「Infinity」を手掛けた日本のメーカー「三英」(千葉県流山市)が開発したものです。**

**デザインも「Infinity」に引き続き、ウォークマンのデザインなども手がけたソニー出身のプロダクトデザイナーである澄川伸一氏が担当。**

**木製の脚部には岩手県岩泉町のウダイカンバ材を採用し、東日本大震災からの復興の願いが込められています。(そのきれいな木目にも注目!!)**

**さらに、伝統工芸である輪島塗による仕上げが施されており、まさに日本の木材と技術を結集して作り上げられた逸品ですね。**



**3年余り更新されていなかった「気まぐれ通信」ですが、その間もサポート隊は地道に活動を続けてきました。**

**メンバーの皆様にご協力いただいた成果を簡単に紹介しておきます。**

**平成31年度の活動回数：83回、延べ参加人数：960名**

**作業面積：大刈り＝1.97ha、補植＝0.4ha、下刈り＝6.02ha**

**枝打ち＝0.64ha、根払い＝0.58ha 合計9.61ha**

**令和2年度の活動回数：52回、延べ参加人数：434名**

**作業面積：大刈り＝0.46ha、下刈り＝3.53ha**

**枝打ち＝1.9ha**

**合計5.89ha**

参考：1ha(ヘクタール)は10000㎡で、東京ドームの大きさは約4.7haです。

**新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年度は平成31年度に比べて活動中止になることが増えました。**

**現在も、緊急事態宣言が発令中ですが、活動が再開されましたらまた皆様のご協力をお願いいたします。**



**それではTOKYO2020オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍を祈りつつ…また次回をお楽しみに！**